



入院後の新規褥瘡発生率

褥瘡予防対策は提供されるべき医療の中でも非常に重要な項目であり、特に高齢者の入院の多い当院では必須の項目といえます。褥瘡の予防には除圧管理から栄養管理まで多岐に渡るケアが必要とされ、チーム医療が試される分野ともいえます。

当院では新規の褥瘡を作らさず、既存の褥瘡を改善させる為、褥瘡対策委員会を設け入院時と週に一度の褥瘡回診・評価を全入院患者対象に行っております。

本年の新規褥瘡発生率は、昨年と同様。1月あたりの実件数も過去3年と大きな変化はありません。

当院では新規褥瘡発生防止の取り組み以外にも、既存の褥瘡の治療に取り組んでおり、今年度は褥瘡治療を目的とした入院も増加しました。褥瘡チームと共にリハビリや栄養面でのNST チームとの連携も強化し、積極的な改善に取り組んでおります。

